

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・新規)

No. 8

事務事業名	シルバーお助けサポート事業
-------	---------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	福祉保健部		
課名	長寿介護課		
課長名	山下 志朗	内線	89-201
担当者名	川嶋 富久	内線	89-201

基本目標		健康でいきいきと暮らせるまち
政策	020202	高齢者が暮らしやすいまちづくり
施策		高齢者の生きがいづくりと介護予防の推進
関連施策		

会計	一般会計		
款	3	民生費	
項	1	社会福祉費	
目	2	社会福祉費	
事業コード	160000	シルバーお助けサポート事業	

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

計画するに至った経緯等(現状と課題)	<p>高齢者が社会的役割をもって生活する事は、生きがいや健康保持のみならず、少子化、高齢化社会のなかで減少していく労働人口を補う上でこれからますます重要視される。このような中、就労や社会参加したいという意欲と能力を持つ高齢者を社会資源とみなし、高齢者が持つ貴重な知識・技術・経験を社会に還元できる場の創出は必要である。</p>
--------------------	---

対象(者)誰(何)に対して事業を行うか	公益社団法人大村市シルバー人材センター会員
意図対象をどのような状態にしたいか	高齢者の社会参加をより一層推進する事を通じて、元気な高齢者が生活支援やデイサービスなどでの補助的役割を行い、社会的役割を持つ事で、生きがいや介護予防につなげる。

事業概要 意図を達成するために実施することは何か(解決策)	<p>①高齢者の経験豊富な知識や技術を生かして、地域全体で子育てを支援する環境づくりを支援するため、市内の保育所や幼稚園、学童保育所において、読み聞かせや草刈りなどといった業務補助を行う。</p> <p>②市内デイサービス事業所が利用者に対して行っているレクリエーションの補助・実施。</p> <p>【実施主体】大村市シルバー人材センター</p>		
事業期間	平成 29 年度 ~ 平成 年度	実施方法	委託
根拠法令、要綱等			

【DO(実施)】

		①				②			
活動指標	指標名	会員のうち保育所などに派遣された人数				会員のうちデイサービスなどに派遣された人数			
	算定式								
	初年度計画値	平成 29 年度	単位	人	100	平成 29 年度	単位	人	100
	全体計画値	平成 32 年度			200	平成 32 年度			200
成果指標	指標名	年間活動者数							
	算定式								
	着手前現状値	平成 28 年度	単位	人	1,343	平成 年度	単位		
	完了後計画値	平成 32 年度			2,000	平成 年度			

年度		全体計画		29年度		30年度		31年度	
項目	事業費 千円	20,712	補助率	6,904	補助率	6,904	補助率	6,904	補助率
内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他	6,904		6,904					
	一般財源	13,808				6,904		6,904	
備考				事業内容		事業内容		事業内容	
				派遣にかかる費用の一部(事務費分)及び派遣調整スタッフの人件費		派遣にかかる費用の一部(事務費分)及び派遣調整スタッフの人件費		派遣にかかる費用の一部(事務費分)及び派遣調整スタッフの人件費	

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

妥当性	<市が実施すべき事業かどうか>	高齢者が自らの意思で様々な社会参加ができる環境の整備に市が関与する必要性は高い。
	<施策にどのような影響を及ぼすのか>	地域の社会資源として高齢者の経験豊富な知識や技術を生かす事で、子育て支援、地域づくり支援の促進となる。
効率性	<コストや負担割合は妥当か>	派遣費用の一部(派遣に関わる事務費相当額)を対象としている事から、削減の余地はない。

※事業類型が1~3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

1次評価	意見	2次評価	意見等	方向性	採用	不採用
				高齢者の生きがいづくりと介護予防推進のため、必要な事業である。	事業費については、財政課の予算査定で精査する。	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。